

## 特別企画 私の学校行事

今回は皆さんの学校行事の思い出を募り、数人の方から学校行事に関するお話をお寄せいただきました。

### 「小学校の運動会」

二十回生 和田 忠博

直線距離で70メートル程度であったと記憶する運動場。小学3年で終戦を迎えた食糧難時代に経験した運動会。低学年の頃に両親が来てくれた記憶はあるが、どのような種目があったのか？両親とどんな食事を頂いたのか？記憶はない。記憶に定かであるのは、小学6年に経験した徒競走の記憶である。

運動会の終盤を賑わすのが、雪・月・星の3クラス代表者6名で競う200メートル、100メートル、50メートルの徒競走であった。私の所属した星組は健脚そらい。200メートルは千里山会の常連である長谷川君とO君が常連で1

位、2位を、100メートルは千里山会の一員である片岡君とK君が2位、3位、50メートルはY君とM君が1位、2位の常連といった具合で、駆けっこの好きであった私に出場の機会がなかったのであるが、小学6年時の運動会で星組の代表選手K君が欠席するというハプニングで、100メートルの代表選手として私が選ばれることとなった。云うなれば私は星組で第7番目の選手であったのであろうか。

スタート位置の抽選が行なわれ、星組は1レーンと6レーンの両端に位置することとなり、当然のことながら、第1レーンには優勝を狙える常連の片岡君が位置することとしてスタートした。

競技の結果は、片岡君が初めて優勝の栄冠を得ることとなり、この年は、全種目で星組が1位を獲得するという初の快挙を果すことができた。私が2位に入れば最大の喜びであったのであるが、現実はそのほど甘くはなく5位。デュークエイセスのヒット曲、「幼なじみ」で歌われる「小学校の運動会。君は1等僕はビリ。泣きたい気持ちでゴールイン」と同じでなくて良かったと自分なりに満足している。今でいうなら5位はブービー、むしろ喜んでいいのではないかと考えている。

### 「学校行事の思い出」

三十八回生 田中 誠次郎

小学校を卒業してもう50年の歳月が経ちました。学校行事を思い出すために、久しぶりに小学校の卒業アルバムを開いたところ、最初に目に入ったのが、プールの写真。そういえば、夏休みに、25メートル泳げる生徒が集まって練習し、その練習後に温かくて美味しい乳酸菌飲料を皆で飲んだことを思い出しました。

私は、皆が練習するクローラや、平泳ぎは、なかなか勝てないと思い、人があまりやらない背泳ぎを選択しました。そのお陰で、吹田市や大阪府の水泳大会に選手として出場することができました。水泳の選手は、小学校で辞めてしまいました。続けていけば、オリンピック選手になれたかもしれないと勝手に想像していません。

次に思い出したのは、クラス会で披露した漫才芸。友達3人で、その時人気があった、漫画トリオの真似を練習。私は横山ノックの役で、画用紙をJの字に切り抜いて黒塗りし、前髪につけ、タコ踊りをしてボケ

をかましては、扇子でたたかれ、笑いを取るというものでした。やはり、お笑い好きは大阪人の血なのでしょう。私もずっと万歳を続けていたら、「火花」のような小説を書いて、芥川賞を、もらっていたかもしれない。

中学時代の思い出は、クラブ活動で、サッカー部に入ったこと。初日の練習時、先輩からの指導で、「大きく蹴るためには、足を後に大きく振って蹴りなさい」とアドバイスを受けました。私は根が素直なもので、初めて思いっきり足を後にバックスイングしたところ、股関節を捻挫し、初日の練習から半年ほどサッカーができなくなってしまうのです。その治療期間は、囲碁部に所属していたせい、サッカーの上達が遅れたのを覚えています。この怪我さえなければ、サッカーがもっと上手くなり、その後、イタリアのセリエAで活躍していたかもしれせん。因みに、私の所属していた吹田一中のサッカー部は、サッカーの上手い選手が多く、3年生の時の大会では、有名私立中学を破り、大阪府で何と3位になったのです。

さて今回、千里山会の原稿を依頼され、無謀にも何十年か振りで、原稿用紙に思い出話を書きました。昔



の事を思い出すのは、ボケ防止に役立つ回想法という手法ですので、皆さんも是非、昔を思い出しては、想像を膨らませて下さい。ただし、私のようにあまり想像を膨らませ過ぎると、妄想癖があると思われるのでくれぐれもご注意ください。

#### (編集部 後記)

もしかしたら、千里山在第二のオリンピック選手として、南部忠平さんの後を継ぐ快挙か、万歳を続け、途中で降板することのない大阪府知事になっていたかもしれない、筒井康隆氏、高村薫さんに次ぐ、千里山が生んだ芥川賞受賞作家が誕生していたかも知れ、はたまた下の噴水にシュートを決めた田中さんの銅像が建っていたかもしれない、と思うと何か心が湧きたってきます。孫の代あたりで実現するかも？

預言者の教えに従い、東方からイエス・キリスト誕生を見届ける為に、三人の博士が野を超え、砂漠をわたり、空の星の誘導のもと、ヴェツレヘムにある馬小屋へと向かいます。

その博士の一人を演じたのが、日本テレマン協会創設者である延原武春氏であり、もう一人は「八重の桜」や「松陰の妹」をこの会誌に執筆してくれた林裕三氏です。

#### ここで問題。

キリシトを演じたのは誰でしょうか？ 答は『懐中電燈』です。何しろ生まれたばかりですから、飼葉桶の中にうづくまり、でも光輝いているのですから。

下の写真は、その幼稚園 年長組の時の集合写真です。上段 一番左が私、右に六角さん(角田・会員)、西田氏(会員)、谷山さん(現 和田・元会員) 一人飛ばして延原氏、中段 左から二番目 林氏(会員) 三人飛ばして、藤川氏(二十回生 会員・井出さんの末弟)、続いて五十嵐氏(会員)

自分の妻？(マリア様 現・住田登喜子さん)が解らないとは、きついお叱りを受けそうです。

担任の先生は確か、田中先生だったと思います。



## 学校行事の思い出

二十七回生 萩原 直大

### 幼稚園・クリスマスの時の劇

左の写真は、私がグレース幼稚園 年長組(白組)の時のものです。クリスマスで私が演じたのはイエス・キリストの父・ヨセフ マリア様は山崎登喜子さん(二十五回生 牧村佳那子さんの妹)



### 小学校時代の学芸会

一年生の学芸会での出し物は「舌切り雀」。洗濯物を干す時に使うノリを食べてしまった雀は、お婆さんに舌を切られて追い出されてしまいます。不憫に思ったお爺さんは雀のお宿まで出かけ、そこで思わぬ歓待を受けます。その時、数羽の雀が踊りを披露。その一羽が私の役でした。

二年生の時は、「紀州の殿様」。例の てんてん手鞠で、または私は踊り子の役。

当時（昭和二十六年）は、敬老の日、お年寄りを小学校に招待し、二年生が一年の終わりに演じた劇を、もう一度披露するので、結局、二十六年春と秋、および二十七年春と併せ、私は3回も踊りを披露することになりました。

踊り子だけはもう勘弁 と、三年生以降は、木琴を練習し、B G組に編入させてもらいました。

四十代の一時期、ディスクに凝ったことがあります。それは、その時の名残でしょうか？

### 小学校時代の運動会

一年から三年までは月組で、このクラスには飯田君、

臨光君、高見君等がいて、クラス対抗のスポーツは、いつも（野球、ソフトボール、競争等）、一番でした。四年生になるとクラス編成が変わり、六年生までの三年間、野球はいつもドンジリ。遊びでの試合を含め、一度も勝つことがありません。

グランド不足の当時、下級生から試合を申し込まれたこともありすが、いつも鷹揚に微笑んで試合を断っていました。

本音は、負ける可能性が高く、そうなるとカッコ悪いからです。

個人的な話ですが、喧嘩もそうです。歳上とは喧嘩しても、年下とは絶対にしませんでした。

歳上なら負けると解れば、謝って済ませられますが、年下の場合、負けると解っても当方からは治められないのと、負ければ矢張り、カッコ悪いからです。

でも運動会のクラス対抗リレーでは、三年間、トップを維持することができました。

中学では野球部、高校、大学ではラグビー部に所属。どれも弱いチームでしたが、負け慣れているというか、私の運動能力には程好いものだったのかも知れません。お陰で牛の尻尾ではなく、鶏の鶏冠？ 顎の下のヨレヨレの喉？ でした。